

心豊かなくらしと共生社会の実現

【文化芸術の鑑賞・活動のための支援】

2005年度は、青少年センターホールの再整備を行い、開館にあたって記念事業を実施したほか、県民ホール、県立音楽堂においてオペラ・バレエ・演劇・演奏会などの公演・催しを実施しました。

2006年度も、各県立文化施設において同様の取組みを行うほか、県民の文化芸術活動を支援するための助成事業や人材育成事業などを行います。
(県民部)

【文化資産の継承と発展】

2005年度は、伝統芸能の普及・振興や後継者の育成を図るため、民俗芸能や和太鼓などの公演や、中学生・高校生を対象とした能・狂言教室、県域レベルの民俗芸能祭や地芝居フェスティバルなどを開催しました。また、文化財の保存と積極的な活用を図るため、国・県指定文化財の保存整備などを行う市町村や団体に対し支援を行うとともに、文化財の保護と活用の普及を図るため、デジタル情報化や講座の開催、出張授業などを行いました。

2006年度も引き続き、同様の取組みを行うほか、子どもたちを対象とした伝統芸能ワークショップの実施に向けた検討を行います。
(県民部、教育委員会)

【多彩な生涯学習活動への支援】

2005年度は、県民の学習ニーズの高度化・多様化に対応し、生涯にわたる多様な学習活動を支援するため、生涯学習情報システム「PLANETかながわ」を活用した生涯学習の機会などの情報提供の充実に取り組みました。また、博物館、美術館などにおける企画展や講座を充実するとともに、インターネットサービスや資料収集の充実など図書館の学習支援機能を高めました。

2006年度も引き続き、同様の取組みを行います。
(教育委員会)

【生涯を通じたスポーツ活動の推進】

2005年度は、県民の健康・体力づくりを推進するため、県、NPO*法人など関係団体で組織した推進体制を活用するとともに、子どもの外遊びや3033運動*の普及・啓発を行いました。また、小学校において、子どもが自ら遊びや運動・スポーツに親しむための機会の拡大と習慣化をめざし、全公立学校で取り組む「子どもキラキラタイム」実践研究をさらに充実させるとともに、中・高等学校においては、運動部活動の活性化に取り組み、入部率の向上を図りました。

2006年度は、引き続き3033運動の普及・啓発を図るとともに、幼児の体力測定や体力診断プログラムの更新などに取り組みます。また、小学校では「子どもキラキラタイム」実践研究の取組みの成果をまとめ、中・高等学校の運動部活動については、柔軟な部活動運営を促進し、さらに入部率の向上を図るなど、健康・体力づくりを推進します。
(教育委員会)

【スポーツ活動を拓げる環境づくり】

2005年度は、県民の多様化したスポーツ志向に対応できるよう、身近なところで誰もが手軽にスポーツ活動を行うことのできる総合型地域スポーツクラブの創設を支援したほか、競技者の発掘・育成・強化に取り組む一貫指導体制の整備などの競技スポーツ振興への支援を行いました。また、スポーツ活動の多様な場の提供として、グラウンド、体育館などの県立学校施設を開放しました。

2006年度は、引き続き、スポーツ関係団体などとのネットワークを強化するとともに、スポーツ活動を拓げる環境づくりの充実に努めます。
(教育委員会)

【ボランティア活動*の推進】

2005年度は、かながわボランティア活動推進基金21や新たにスタートした県提案型協働事業などにより、NPO*などから提案された事業や県からNPOなどに提案した事業などを協働で実施しました。また、NPOなどと県とが協働に関して協議を行う場としてかながわ協働推進会議を設置しました。

2006年度も引き続き、同様の取組みを行います。また、かながわ協働推進会議などにより県とNPOなどの相互理解を一層深め、県行政に協働の文化を育てていきます。(県民部)

【人権政策の総合的な推進】

2005年度は、人権がすべての人に保障される地域社会づくりをめざし、幅広い人権啓発活動などを行うとともに、同和問題の解決に向けて、関係団体が行う相談活動及び啓発活動などに対して支援を行いました。

2006年度も引き続き、同様の取組みを行います。(県民部)

【男女共同参画社会の実現】

2005年度は、男女共同参画年次報告書を公表し、男女共同参画推進プランの適切な進行管理と推進に努めたほか、かながわ女性センターで女性のチャレンジ支援策などに取り組みました。さらに配偶者などからの暴力の防止及び被害者の保護のための施策を推進するため、かながわDV*被害者支援プランを策定しました。

2006年度も引き続き同様の取組みを行うとともに、かながわDV被害者支援プランの実効性のある施策の展開を図ります。(県民部)

【地球市民*意識の醸成と平和な風土づくりの推進】

2005年度は、地球市民かながわプラザの交流交歓学習事業、常設展示・企画展示事業、図書・映像資料の情報サービス事業などを、(財)神奈川県国際交流協会へ委託して実施しました。

2006年度も引き続き、同様の取組みを行います。(県民部)

【地域からの国際交流・協力の推進】

2005年度は、韓国・京畿道及びオーストラリア・ゴールドコースト市との友好提携15周年記念事業として友好代表団を派遣、受入れをするとともに、中国・遼寧省など友好交流先からの訪問団を受け入れるなど相互理解と多様な分野での交流・協力の促進を図りました。また、人口増加や経済成長の著しいアジア太平洋地域を中心に、持続可能な開発の実現をめざし、実践的かつ革新的な戦略的研究を行っている(財)地球環境戦略研究機関に対して、誘致自治体として運営費、研究活動事業費の一部に対し支援しました。

2006年度は、アメリカ・メリーランド州との友好提携25周年、マレーシア・ペナン州との共同声明15周年を記念し、友好代表団の派遣、受入れや第6回友好県省道交流会議などを行います。(県民部、環境農政部)

【外国籍県民とともに生きる地域社会づくり】

2005年度は、外国籍県民の意見を県政に反映させるため、外国籍県民かながわ会議を開催し、外国籍県民の諸問題を検討するとともに、言葉や文化、習慣などの違いから生ずる外国籍県民の生活上の問題に対する相談事業をかながわ県民センター、川崎県民センター及び県央地域県政総合センターにおいて実施しました。また、多言語による情報提供事業などを実施しました。

2006年度も引き続き、同様の取組みを行います。(県民部)

【県民の国際活動の支援、協働・連携の促進】

2005年度は、県民の様々な国際交流・協力活動などを推進する(財)神奈川県国際交流協会に対して支援を行いました。また、湘南国際村計画を推進するため、民間事業者が行う基盤整備事業に対する検証を行うとともに、国内外の研究・研修機関の誘致に向けて広報キャンペーンを行いました。あわせて、地域から世界に貢献し地域社会の発展に寄与するため、人材育成・交流事業などを推進する(財)かながわ学術研究交流財団に対して支援を行いました。

2006年度も引き続き、同様の取組みを行います。(県民部、企画部)

【開かれた県政の推進】

2005年度は、県政の重要課題などをテーマに知事と県民が直接対話する「知事と語ろう！ 神奈川ふれあいミーティング」を開催したほか、県政の基本情報などを分かりやすく整理して公表する情報公表制度をスタートしました。また、誰もが見やすく利用しやすくするため、県ホームページのリニューアルを実施しました。

2006年度も引き続き、同様の取組みを行うとともに、ホームページ広報の一層の充実を図るなど、県民との情報共有化をさらに進める取組みを行います。（県民部）

【個人情報保護の推進】

2005年度は、個人情報保護制度の推進のため、公安委員会及び警察本部長を実施機関に加えるなどの個人情報保護条例の改正を行うとともに、県民や企業、事業者団体に対し、個人情報の保護と利用のバランスを踏まえた適正な取扱いをするよう、意識啓発をしました。また、個人情報保護審議会、個人情報保護審査会を開催しました。

2006年度は、改正後の条例の運用を行うほか、同様の取組みを行います。（県民部）

【行政・くらしの情報化の推進】

2005年度は、7月から申請・届出や公共施設の利用申込みなどの手続きのオンラインサービスを開始するとともに、10月から入札手続きの電子化の試行を行い、2006年度からの運用開始に向けた準備を進めました。また、地方税の電子申告や自動車保有関係手続きのワンストップサービス*を順次開始するとともに公金の電子納付に係る基盤整備を行いました。

2006年度は、4月から入札手続きの電子化を進めるとともに、申請・届出や公共施設利用予約サービスの対象となる手続きや施設を拡大します。また、地方税の電子申告・納付手続きや自動車保有関係手続きのワンストップサービスの対象を拡大するための準備を進めます。（企画部、県土整備部、出納局）